

## 令和二年第一回定例会 提案理由説明書（三月二十七日追加提案）

第六十一号議案 一般会計補正予算（第五号）について、新型コロナウイルスの感染拡大防止等に緊急的に対応するため、補正予算を追加上程するものであります。

県内では、残念ながら、大分市の国立病院機構大分医療センターにおいて、新型コロナウイルスのクラスター感染が発生しました。一刻も早く感染の連鎖を断つため、国のクラスター対策班の専門家による助言も受けながら、濃厚接触者等の感染状況の調査を徹底しているところです。それも迅速に行う必要があることから、大分大学医学部附属病院や福岡、長崎両県等の協力も得て、センターの医師、看護師などの職員及び入院患者全員をはじめ、感染リスクが高い方々の検査を昨日終えたところです。その結果、センター関連で計二十四人の感染者が確認されましたが、心配された他病院への、これ以上の広がりについては、今のところ確認されていないという状況です。

引き続き、県の相談窓口や保健所による二十四時間対応の相談やPCR検査の着実な実施等、感染拡大の防止に向けた取組を全力で進めます。加えて、県内医療機関と緊密に連携し、感染患者を受け入れる医療体制の確保にも万全を期してまいります。

県民の皆様には、感染拡大防止のために、様々御不便をおかけしますが、御理解と御協力をお願いします。

こうした中、国は今日、新型コロナウイルス感染症に関する緊急対応策第二弾を決定しました。本県においても、これを積極的に活用し、感染拡大防止策及び医療提供体制の整備、並びに学校の臨時休業に伴う課題等にしっかりと対応します。

加えて、観光立県大分県として、独自の感染防止対策にも取り組みます。新型コロナウイルスの感染が拡大する中、観光が低迷していますが、観光立県としては、こういう時こそ、来たるべき反転攻勢に向けて、しっかりと準備をしておくことが大切です。そこで、今やるべきこととして、県内宿泊施設の効果的な感染防止強化に向けた取組を支援するとともに、そうした業界の取組等を情報発信していきます。

さらに、今回の感染拡大防止のために経済活動が低迷し、また、学校等の臨時休業に伴い、仕事を休まざるを得ない御家庭等にとって、経済的な負担は大変厳しいものがあると思います。その一助になればとも思い、この四月に県内の小・中・高等学校及び特別支援学校等に入学する児童生徒全員に、新年度からの学習準備などに活用できる商品券を交付し、新しい門出を迎える子ども達の笑顔と元気を後押ししたいと考えています。

今回追加する補正予算額は、八億四千六百四十四万八千円であり、これに伴う財源は、国庫支出金 四億三千七百七十七万一千円、財政調整基金繰入金等 四億一千四百三十七万七千円であります。

以上が補正予算の概要ですが、国も、今後、機動的に経済対策等を講じることとしており、本県においても、更なる補正予算の編成も含め、必要な対策を尽くしていきたいと考えています。

以上をもちまして、提出しました議案の説明を終わります。

何とぞ、慎重御審議のうえ、御賛同いただきますようお願い申し上げます。